

国民健康保険制度、少子高齢化対策を学ぶ

国民健康保険事業運営研修会



府と本会共催の平成22年度国保事業運営研修会は、11月10日（水）、京都市上京区のルビノ京都堀川で開かれ、31保険者から71名が出席した。

府医療企画課の高宮課長の開会挨拶のあと、厚生労働省保険局国民健康保険課の姫野課長補佐が「国民健康保険制度を巡る最近の動向について」と題して講演を行った。医療保険制度を取り巻く厳しい財政状況から制度改正を行い、市町村国保の財政基盤強化策の延長、市町村国保運営の広域化の必要性と効果について説明した。



2つ目の講演は、ジャーナリストの二木啓孝氏が「どうなる日本！ どうなる21世紀！ ～社会保障全般～」と題して行った。

記者として得た政局の話を変えながら、昨今の政権による社会保障の大きな変動に対して難色を示し、社会保障の在るべき姿を訴えた。



参加者からは、「政局の話に興味を持って聞くことができた」、「政権による外交・社会保障の変更は国の損失という意見に共感できた」等の感想が寄せられた。